

監視カメラ設備について(3/4)

3-1 監視カメラ設備

監視カメラ設備は、平成16年度に新規導入しました。従来では現地に行かなければ確認出来ませんでしたが、ネットワークカメラを採用した監視システムを導入することで管理の効率化が図られました。従来と今回の違いを表-3に示します。

表-3 従来と今回の違い

従来	今回
1取水工、5調整池 現地での目視のみ (放送・照明も不可)	画像による状況把握 画像録画編集 放送機能／照明制御

3-2 監視カメラ設備の特徴

1. 簡単な機器構成
カメラと監視用PCのみ
2. 機器費が安価
3. 専用の制御用ソフトがない。(ブラウザで制御)
4. NTSC、M-JPEG映像出力可能
5. 画像転送機能(今回使用していない)
6. 無線LANを利用した携帯電話やパソコンからモニタリング

3-3 監視カメラ設備概要

監視カメラ設備は図-3の構成のように2取水工と5つの調整池を菰野(三重用水管理所)と中里(水源管理支所)から監視・放送・照明制御ができます。表3-1に監視カメラ設備概要を示します。

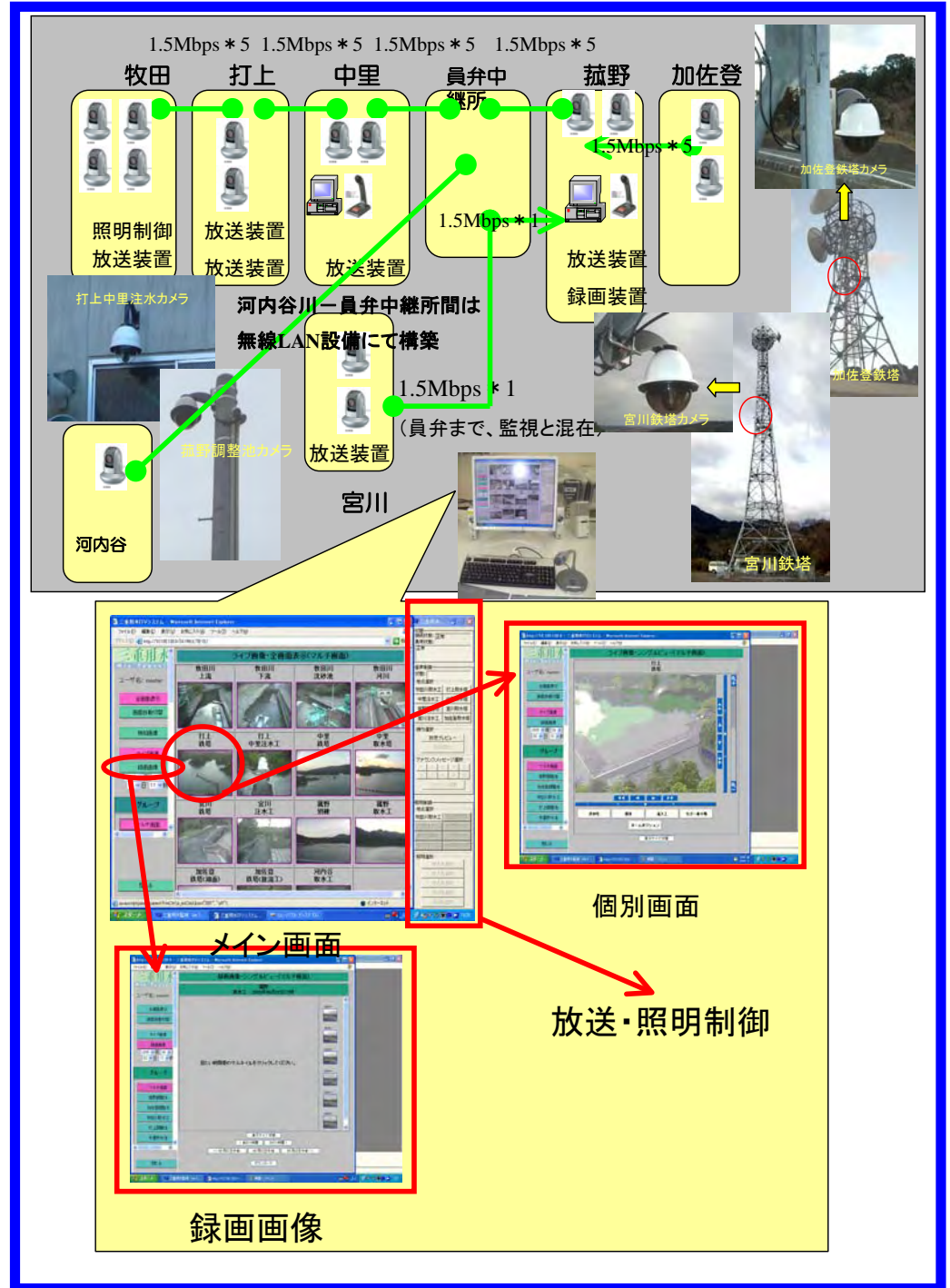


図-3 監視カメラ構成図

表-3-1 監視カメラ設備概要

装置名	数量	設置場所
ネットワークカメラ (H16年度)	11台	牧田2、打上2、中里1、宮川2、菰野2、加佐登2
ネットワークカメラ (H17年度)	4台	牧田2、中里1、河内谷1
操作端末装置	2台	菰野、中里
録画装置(汎用サーバ)	1台	菰野(三重用水管理所)
放送設備(手動・固定) H16年度	5箇所	牧田、打上2、中里、菰野
放送設備(手動・固定) H17年度	3箇所	宮川2、加佐登
照明設備	1箇所	牧田